

この PDF は以下の書籍の第 3 課 (p.15-p.17) の抜粋です。

塩原朝子, 原真由子, I Gusti Made Sutjaja. 2002. 「バリ語文法・会話」. 府中: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.



## 第3課

# 発音 Pengucapan

## 3.1 母音

### 6 母音

a, i, u, é, o, e

#### **a**

jati 本当に、真剣に

sabat 投げる

#### **i**

ipun 彼・彼女（敬語体）

dini ここで

bedik 少し

#### **u**

ukir 彫る

bubu（魚をとる）わな

é [e] (日本語の「エ」に近い音です)

éling おぼえている、思い出す

sémér 井戸

o

ombak 波

nomplok 壊す

e [ə] (アとウの中間のような音です。)

embung (木などの) 芽

empas (小さい) 亀

seneb 気分が悪い

語末の a は、e [ə] と発音されます。

apa [apə] 何 (普通体)

bapa [bapə] 父親

## 3.2 子音

### 18 子音

h, n, c [tʃ], r, k, d, t, s, w, l, m, g, b, ng [ŋ], p, j [ɟ], y, ny [ɲ]

h	layah 舌	sahsah 広がる、広がっている
n	nasi ごはん	lan ~ しましろう
	baan ~ によって (動作主)	
c [tʃ]	ica 笑う	cangkem 口にのせて味わう
r	taru 木	rasa 味
l	lélé なまず	puntul (ナイフなどの切れ味が) 鈍い
k	kapok 飽きる	pakpak 噛む

d	dadong 祖母	tukad 川
t	telu 三、三つ、3	pat 四、四つ、4
s	sampi 牛	kutus 8
w	wédang コーヒー bawang 赤たまねぎ	bawi ふた
m	mati 死ぬ berem お米からできた醸造酒	mata 目
g	girang 喜ぶ、幸せである munggah 乗る	belog ばかである
b	bé 魚、肉 ongkeb 蒸し暑い	mengkeb かくれる
ng [ŋ]	nguling 焼く baang あげる	bunga 花 sanggah 家の敷地内にある寺
p	padi 稲 tekep カバー、ふた	
j[ɕ]	jakti 本当に	kija どこへ（疑問代名詞）
y	yuyu かに	bayu エネルギー
ny [ɲ]	nyak ~ したい munyi 音、声	manyi 米の収穫

あいさつ 2

[4] お礼の表現

「ありがとうございます。」(かなり丁寧な表現)

(matur) suksma. မာဖျံဆုကျပ်မာ

「どういたしまして。」

sami-sami. မမိမမိ

sareng-sareng. မပွဲကွဲပွဲ

インドネシア語の次の表現も日常的に用いられます。

「ありがとうございます。」

「どういたしまして。」

Terima kasih

sama-sama

また、インドネシア語の上記の表現をバリ風アレンジした以下のような表現もよく用いられます。

Terimakasih nggih.

ဖျံမိမာဆုကျပ်ကွဲ (丁寧な形)

Makasih nah. (くだけた形)

မာဆုကျပ်ကွဲ

[5] その他、挨拶代わりによく用いられる表現

「どこに行くんですか？」

jagi kija? ဒါဂါဆိဒါ (A)

lakar kija? လာဆိဆိဒါ (B)

「もう食事しましたか？」

sampun ngajeng? မပျဲကွဲဒါ (A)

suba madaar? ဆုကမာမာဟါ (B)

「もうお風呂に入りましたか？」

sampun masiram? မပျဲကွဲမိကါ (A)

suba manjus? ဆုကမာကွဲမိ (B)